白方の風

みんなが主役（ヒーロー）の学校

令和８年９月１日
学校便り　No.６





大切なもの

45 日間の長い休みが終わりました。
夏休みで静まりかえっていた教室に、子どもたちの元気な声が響くようになり、学校に活気が戻ってきました。

夏休みには、普段できない体験をすることができたのではないでしょうか。それらの体験は、小学生の今だからできる、かけがえのない「大切なもの」となったと思います

今年は、終戦後 ８１年を迎え、８月６日（木）には、広島で、８月９日（日）には、長崎で、平和を願う式典が開催されました。本校からも6年生の平和大使２名と教員１名が、東海村の代表として広島平和祈念式に参列し、「戦争の悲惨さを後生に伝えることの重要性」や、「平和のために行動ことの大切さ」を学んできました。

広島平和祈念式の中で6年生2名（こども代表）が発表した「平和への誓い」の一部を紹介いたします。

※「平和への誓い」一部抜粋

私たちには、広島のこどもとして、行動する責任があります。

相手の気持ちを想像し、意見の違いがあっても認め、受け止めること。

平和への思いを、自分なりの方法で表現すること。

一人一人の小さな行動が、平和への後押しとなります。

平和とは、誰かからあたえられるものでなく、世界中の人々で創り上げるものです。

こどもである私たちも、その一員として平和への一歩を踏み出します。

かけがえのない「大切なもの」を確かな希望を、未来へ届けるために。

子どもたちが、日常生活の中で安心して自分の力を発揮できることが、当たり前の「平和」であり、「大切なもの」だと考えます。子どもたちのかけがいのない「大切なもの」を守れるよう、教職員一同、尽力いたします。学校、保護者、地域が一体となって子どもたちの「平和」を創っていきたいと思います。

【平和大使の活動の様子】

※１１ 月１日（日）、村文化祭で、平和大使の活動内容を発表します。







【第２回学校運営協議会（コミュニティ・スクール）】

スローガン：

「子どもとふれあい ともに育ち 生き生き笑顔の CS
～WA（輪）と WA（和）で育てる WA（我）が未来～」

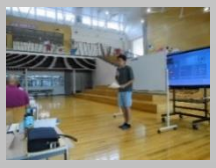
７月28日（火）、学校運営協議会委員の皆様と白方小学校教職員とで、白方小の子どもたちが生き生き楽しく生活するために、学校と地域が連携して「できること」について話し合いました。

地域と学校がお互いに顔を合わせ、言葉を交わすことにより、一緒に「何ができるか」考える良いきっかけとなりました。子どもたちをいつも温かく見守ってくれていることに感謝申し上げます。









＜参加者＞
白方学区自治会長等
民生児童委員
商工会
社会福祉協議会
白方小教職員

夏休み中の白方キッズの頑張り

【白方小自由研究調査隊】

自由研究調査隊に応募した １３ 名の児童が、夏休み中、いにしえガーデン観察園で、昆虫観察を行いました。暑い中、朝早くから、たくさんの昆虫を見つけていました。
中には、なかなか見ることができない昆虫もいました。科学する心が育っていること、嬉しく思います。







ひまわり迷路ができました

７月 １１ 日（土）に地域の方、保護者、児童、教職員で植えたヒマワリの種が、大きく成長し、大輪の花を咲かせました。児童たちは、９月１日（火）から９月８日（火）の間、休み時間や授業等で観察します。保護者や地域の皆様もぜひ、見に来てください。





